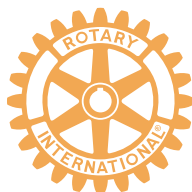


2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ
〒874-0000 別府市大字鉄輪499番地18
TEL (0977) 66-1000 FAX 66-1002
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事 西馬 良和 理事 森 宗明 役員 会長 梶原 和朗 会計 河村 貴雄
〃 木村きぬゑ 〃 平野 英壽 副会長 佐々木久宜 SAA 森園 伸也
幹事 平野 教康

VOL. 35 - 14
2023年3月15日

第1505回例会

会報担当 佐藤 愛子

◆点 鐘 12:30

◆R S それでこそロータリー

会長の時間

会長 梶原 和朗

皆さん、こんにちは。
本年度12回目の会長の時間です。
本日の卓話は佐藤さんのリベンジ卓話となっています。
佐藤さんリベンジ頑張ってください。
3月12日もみじ谷奉仕作業に参加して頂いた会員のみなさんありがとうございました。
前回中止になり久しぶりの参加となり、もみじ谷がかなり変化しているのを目の当たりにし、私たちが知らない所で数多くの方の力が未来に向けて日々活動しているのを感じました。
当日久しぶりに森さんに会いそんなに月日は過ぎていないのですが、なんだか懐かしさを感じました。
後、お知らせですが4月に行われる地区大会ですが最終的に13名の方が出席となりました。
先週の会長の時間では11名とお伝えしましたがその後に木村さん、米山奨学のファンさんが参加となり約7割の会員の方の出席となります。
4月の第一例会までに地区大会の当クラブ用の案内を作成し皆さんにお渡しいたします。

佐藤さんのリベンジ卓話があるので会長の時間は以上といたします。
ありがとうございました。

◆出席報告

平野 教康

本日 の 出 席	会 員 総 数	18 名
	出 席 者	11 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	2 名
前 々 回 の 訂 正	欠 席 数	5 名
	出 席 率	68.75 %
	出 席 率	66.67 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
2/15	出 席 免 除	2 名
	修 正 出 席 率	66.67 %

連 続 一 回
通 算 751 回 100 %

・メイクアップ

事前
事後
欠席 中尾、佐々木、高良、竹下、梅津
理事会承認
出席免除 溝部、木村

◆幹事報告

平野 教康

一水と衛生月間一

- 本日の卓話
「町づくりは人をつなぐ仲間づくり」
佐藤 愛子 会員



2. 本日より、下記の方が入会されますのでよろしくお願いたします。
 氏名 後藤 雄二氏
 事業所 別府市鉄輪1205-1
 一般社団法人雄和会 理事長
 推薦者 平野教康会員
 職業分類 福祉サービス

3. 第8回定例理事・役員会報告（令和5年3月7日（火）13：40～ 7名）

報告事項

- 1) 「第10回別府市内4RC会長幹事会」報告（2023年3月1日（水）開催）
 - 別府市内4RC合同例会収支報告 ※記念品代は4クラブで折半
 - 合同事務局Zoomアカウントの件 ※今年度までで有料は解約
 - シュレッダー購入の件 ※承認

審議事項

- 1) 地区より「トルコ・シリア大地震被災地」への対応の件。
 ※各会員へ周知後各自対応
- 2) 通帳名義の件。※今期末変更
- 3) その他
 ○地区大会 米山奨学生旅費をクラブ負担により拠出

確認事項

3月・4月例会等の予定の確認。

【水と衛生月間】

- 3月7日 「会員卓話」河村貴雄会員
- 14日 「会員卓話」佐藤愛子会員
- 21日 法定休日
- 28日 「花見会」於：春香苑

【母子の健康月間】

- 4月4日 「フラワーアレンジメント例会」梅津圭二会員
- 11日 例会はありません。
- 18日 「職場例会」12：30～於：春香苑（春香苑の歴史について）
- 25日 例会はありません。

4. 3月11日（土）13:00～12日（日）12:10まで、マリエールオークパイン日田に於いて「2023-2024年度会長エレクト研修セミナー（PETS）」が開催され、佐々木久宜会長エレクトが出席致しました。

5. 3月12日（日）8：30～別府もみじ谷に於いて「もみじ谷植樹作業」を行いました。参加会員の皆様、ご協力ありがとうございました。当日の参加者は、梶原和朗会長、亀井孝、中

畑千恵子、佐藤愛子、平野教康各会員でした。

6. 本日、11：40～インターコンチネンタルホテルに於いて「新会員候補者へのインフォメーション」を開催致しました。

7. お祝い
 会員誕生日 中尾 誠会員（3月18日）
 ※記念品をお渡し致します。

8. 例会変更のお知らせ
 宇佐RC 3月23日（木）の例会は職場例会の為、3月25日（土）18：00～三和酒類に日時・場所変更

別府東RC 3月23日（木）の例会は定款第7条第1節に基づき休会

別府RC 3月24日（金）の例会は定款第7条第1節に基づき休会

中津中央RC 3月28日（火）の例会は花見例会の為、同日18：30～場所未定に時間・場所変更

日出RC 3月28日（火）の例会は子ども食堂開催の為、3月26日（日）10：00～川崎公民館に日時・場所変更

津久見RC 3月28日（火）の例会は、臼杵RCとの合同観桜例会の為、3月30日（木）18：30～喜楽庵に日時・場所変更

中津RC 3月29日（水）の例会は、観桜夜例会の為、同日18:30～ヴィラルーチェに時間変更（MUは事務局受付）

別府東RC 3月30日（木）の例会は例会変更の為、12：30～ホテルサンバリアアネックスにてサインMU受付

宇佐RC 3月30日（木）の例会は定款第7条第1節に基づき休会

湯布院RC 4月4日（火）の例会は、大分城西RC合同花見例会の為、4月2日（日）に日時・場所変更

9. 次回例会の予定（4月4日）
 「フラワーアレンジメント例会」
 梅津圭二会員
 於：インターコンチネンタルホテル

10. 本日の回覧
- ①「花見会（3/28）」出・欠席
 - ②「4月第1例会（4/4）」出・欠席
 - ③ハイライトよねやま
 - ④杵築・竹田RC 週報



スマイルボックス

担当 佐藤 豊和

○梶原会長

3月12日のもみじ谷作業に参加していただいたみなさん、ありがとうございます。
後藤さん、入会おめでとうございます。
すべてに感謝してスマイル。

○平野(教)会員

後藤さん、入会おめでとうございます。
楽しく例会参加しましょう！

○衛藤会員

今日は久しぶりに春らしいお天気です。
愛子さま、卓話楽しみにしています。

○河村会員

明日が確定申告の期日です。戦力外通告を受けた身なので、忙しくはありませんでしたが、なんとなくほっとしています。
佐藤さんの卓話を全力で聴きます。

○亀井会員

昨日のもみじ谷奉仕作業お疲れ様でした。
後藤会員、入会ありがとうございます。
佐藤会員、本日の卓話よろしくお祈いします。

○中畑会員

本日の卓話、佐藤さん楽しみにしています。
新会員の後藤雄二さん、よろしくお祈いします。
先日のもみじ谷植樹、たくさんのもみじの木を拝見し、先輩方の思い入れをひしひしと感じました。もみじ谷にスマイル。

○佐藤(愛)会員

先日のもみじ谷奉仕作業、お疲れ様でした。
気候もちょうど良く、気持ち良く作業が出来、楽しく過ごせました。
後藤雄二様、別府中央RCへご入会おめでとうございます。私も入会したばかりです。よろしくお祈いいたします。

○山本会員

都町に寿司屋さんを施工するようになりました。完成の際は皆様にご紹介いたします。

○佐藤(豊)会員

佐藤愛子さん、今日はよろしくお祈いします。
後藤雄二さん、今後ともよろしくお祈いします。
今年は花粉症デビューする人が多いようですが、その中の一人になってしまいました。
早く5月になって欲しいものです。

スマイルボックス

佐藤 愛子

「町づくりは人をつなぐ仲間づくり」

◆システム開発から豚まんづくりまで

右の写真は一見すると、「のどかな里山の風景だなあ」と感じると思いますが、でもこの辺り、本当は



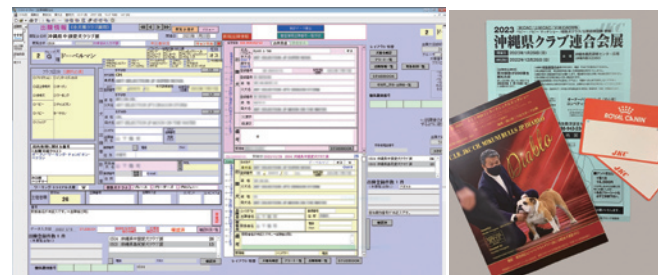
田んぼなんです。以前は棚田が素晴らしい景色だったんですが、これが山香町の現在です。私のお話する地域活性化は、特別な技術やシステムを活用して何かを成し遂げたというような話ではなくて、人がつながっていく過程やつなぐためにどういったことに力を注いだのか、そこから生まれたモノが何なのか、そのような内容です。

DXに取り組んでいることが当たり前前の時代です。私たちはどんどん進化するIT技術を上手に活用し、成長していかなければなりません。それはつまり、「人にしかできないこと・人だからできることは何か？」ということに常に意識しなければならぬということです。それを考える一つの素材として聞いていただければ幸いです。

弊社の創業は軽印刷で、今でも印刷が売上の大半を占めていますが、それ以外の事業を3つご紹介します。

1つめの事業はJKCのドッグショーのサポートです。JKCとはジャパンケネルクラブの略称で、全国の犬の血統を管理する組織です。血統書付きの犬の個体情報（いわゆる戸籍）は、すべてここに登録されます。皆さん「チャンピオン犬」って言葉を聞かれたことがあると思いますが、このドッグショーで生まれます。JKCはこのドッグショーを全国各地で開催していて、1回に最大約1000頭の犬が参加します。

ドッグショーの申込みに必要な情報は、犬の名前、犬種、個体番号、生年月日、取得資格、両親





の名前、取扱者の名前・住所等々です。この大量の情報を正確に処理して短時間で印刷物に仕上げることがあるため、それを自社製のデータベースシステムで処理しています。これにより、ドッグショーの質と効率アップに貢献しています。

2つめの事業は出版です。マークエステルさんというフランス人画家で、日本に移住して約50年、神話をテーマにした作品を、全国の神社に奉納されています。その功績が認められ、文部科学大臣表彰を受賞されるなど活躍されています。弊社は縁あってマークエステルさん監修のもと、神話の絵本を製作し、出版しました。さらにその絵本の朗読や神楽を舞うイベントを開催しながら、絵本のPRにつなげたり、日本神話というものを知っていただく活動を行っています。

3つめの事業は「ぶたまんの店 幸崎」の事業です。別府の幸崎さんは豚まん1種類だけで50年営業されていますが、弊社は12年前から販促のお手伝いを始め、POPやのぼり等の製作、お祭りへの出店、工場の改善や冷凍保存の仕組みを整えました。別府観光のお土産にしてもらえるように新商品も開発しました。それが「別府温泉ぶたまん」です。生地に温泉水を練りこんでいます。パッケージも試行錯誤しながらできあがったもので、冷凍の袋のままレンジで1分加熱するだけで、蒸したての豚まんが食べられるようになっています。現在は弊社が事業承継をしており、工場や店舗の運営をしながらイベントの出店なども引き続き行っています。

以上のように弊社は印刷も絡めながら、様々な事業を行っています。弊社は1993年につちや印刷として創業し、徐々にITにも力を入れるようになり、2000年に社名をクリエイティブに変更しました。社員数は8名。このスタッフですべての事業をやっております。



別府温泉ぶたまん

◆印刷青年団体のイベントを機に地元活性化へ
さて本題です。今回の舞台となる杵築市山香町の知名度は限りなくゼロに近いと思います。山香町は大分県の北東部、国東半島の付け根にあり、周りはすべて山に囲まれています。八坂川の源流に沿って田園風景が広がる、静かな山里です。

この町は昔から稲作や畜産が盛んです。世界農業遺産にも認定されている地域で、とてもおいしいお米が育つ地域です。

ですが全国のあらゆる地方で「過疎化」が課題となっている中、山香町も同様で、1990年に1万人だった人口が2020年には6200人になり、ついに先月6000人を割ってしまいました。ここから先は一気に減少が加速します。もう決まっています。なぜかという、現在、町の人口の高齢者率が45%！つまり2人に1人が65歳以上なんです。ですから2030年、つまりあと7年で今の人口が半分になると言われています。現在でも労働人口が不足していて、限界集落へ待たなし。実はこの町は私のふるさとで現在も住んでいます。なので以前から、この状況を何とかしたいと思っていました。

山香町は平成の大合併で2005年に杵築市になった町ですが、杵築市中心部は城下町なのでどうしても市税は城下町の観光事業に流れていきます。山香町民の声もなかなか行政に届かないのが現状です。そういう状況の中、行政に頼らず、自分たちで町を良くしていこうと立ち上がった方々がいます。それが(株)山香社中さんです。若者が住み続けたいと思える町づくりを目指そうというのが設立目的で、代表は85歳。若い人も2名いますが、平均年齢は65歳と高齢者です。山香社中さんは第1期目の事業として、クラウドファンディングによる「田んぼ再生計画」を実施しました。

同じ頃、私はプリントネクスト2022というイベントに、九州ブロックメンバーとして参加していました。プリントネクストは、団体の垣根を超えた全国青年印刷人のイベントです。2年に1度、8ブロックに分かれてテーマに沿った活動をし、その成果を発表するイベントで、今回、九州ブロックは山香社中さんに「共同で町の活性化に向けた取り組みをしませんか？」と提案したのです。

最初からすんなり受け入れてもらえるわけではなかったので、まず、協力的だった山香社中の一番若い方に「山香社中が求めているものや課題」についてヒアリングを行い、ブロックメンバーで協議を重ねました。そして「山香町の関係人口を増やすこと」という目標を決めました。そのためには山香を知ってもらい、山香を好きになってもらう必要があるため、具体的な施策を下記のとおり決めました。

休耕田再生計画事業をお手伝いし、山香社中さんとの距離を縮め、活動内容をSNS等を通じて発信し、そして、もっと深く知ってもらうために山

香に来てもらえるイベントを実施する。

田植えと稲刈りはすべて手作業です。これは稲作を体験していただきたいのと、掛け干



しで収穫したお米の付加価値を高めるためです。私たちが一緒になって作業をしながら、地元の人やクラウドファンディングの参加者と交流しました。さらに町を散策しながら、SNSなどで情報発信を続けました。

そして私たちは、町に人を呼ぶイベントを山香社中さん主催でやろうと提案しました。地域の活性化は地元の人を中心になってやるのが大事だからです。コロナ禍だったので、密を避けることができるスタンプラリーをすることにしました。スタンプラリーはデジタルで行いました。そうすることで効果測定が可能になりますし、生産年齢人口にアプローチできるという「狙い」もありました。賞品に山香米や町の特産品を積極的に取り入れ、山香のPRにつなげました。告知動画も作成し、SNSで拡散しました。

このイベントを行う上でのキーワードは、「人」です。地域の魅力は、何よりも「人」です。その町の魅力を知る一番の近道は、そこに住む人たちの文化や日常、人柄に触れることです。なのでチェックポイントをどこにするかを決める際、「人と触れ合える場所」ということを重視し、そうすることで人の「つながり」を創りました。

その結果、SNSのフォロワー数の増加やスタンプラリーの参加者取得ができました。イベント名は「山香町 ふるさとつなぐスタンプラリー」。これは外の人と山香町民をつなぐ——という意味で名付けたのですが、町の人たち同士もつながって驚いています。コロナ禍でなかなかできるイベントが無く、スタンプラリーにしましたが、結果的に人をつなぐ格好のイベントになりました。ここまでがプリントネクストでの取り組み内容になります。



◆仲間と一緒に地域活性化の法人設立

プリントネクストが終わり、ここからは弊社と地域との話になります。きっかけができたので、今後も町の人たちで活性化に向けての取り組みを

と思っていた矢先、町唯一の宿泊施設「風の郷」が無期限の休館となりました。指定管理者が突然撤退したためですが、休館について誰も直前まで知らなかったのが本当にショックでした。でも、落ち込んではいられないので、「この指とまれ」ってやったんです。

田んぼ再生事業やスタンプラリーに積極的だった地元の人に声掛けし、若い有志たちが集まってくれました。最初は6名でした。会議を重ねていくうちに、少しずつメンバーが増え、現在は24名。メンバーの職種もいろいろで、市議会議員や、水道屋、時計屋、お寺の住職、山香町に移住したばかりのミュージシャンやユーチューバーがいました。組織名を「山香会議」と名付け、町の清美やイベントのボランティア、たまにバーベキューなどのレクリエーションで親交を深めながら、一番の願いである、「風の郷」の営業再開のために、自分たちに何ができるか話しあっていったんです。

「風の郷」は、杵築市の委託事業で運営するので、指定管理者がいないと営業は再開しません。山香会議は法人ではないので管理者に立候補ができない。そこで、山香会議のメンバーの一人が手を挙げ、あらたに会社を立ち上げたのが、「一般社団法人やまが地域創生機構」、通称YAROE（やろうえ←大分弁です）。JTBや大手IT企業の(株)ザイナスが参画して、かなり頼もしい法人です。「風の郷」の指定管理者に立候補するための企画会議を何度も重ね、杵築市の公募を待って申請しました。その間も、「やろうえ」が今できることをやろうと、念願の第2回目デジタルスタンプラリーを開催しました。準備には山香会議も積極的に関わってくれたのでスポンサーもたくさん集まり、参加者も前年を大きく超え、内容の濃いスタンプラリーになりました。参加賞のお米の袋に貼ったラベルには、山香会議のメンバーであるお寺の住職が書いてくださった絵が描かれています。この住職は絵の入った御朱印を対面しながら一人ひとりに丁寧に描かれるので、県外からお参りに来られる方も多いです。ですから、ラベル用にオリジナルで絵を描いていただいたことに感謝です。

その他、地元の大イベント「山香ふるさとまつり」に出店、企画会議にも参加してイベントを盛り上げました。こうして「やろうえ」を設立したことにより、山香町活性化の持続性を担保することができました。

「やろうえ」の今後の展開計画をご紹介します。この大分農業文化公園は年間33万人が訪れる集客力のある県立公園で、これが山香町にあるんです。



ですが、山香町の端っこにあって別府が近いので、ここに来る利用者は山香町には流れない。「やろうえ」は来月3月から、この大分農業文化公園と学校法人サイナスアカデミーの3社で連携し、公園と山香町のパイプを作ろうとしています。来園者を宿泊や温泉で「風の郷」に誘導したり、収穫や調理体験、農業IT研修など、地域総括のツアーリズムを展開していく予定です。

実は朗報が入りまして、「風の郷」の指定管理者が「やろうえ」に決定しました。数社の企画資料やプレゼンの中から選ばれました。なのでこれから、「風の郷」を拠点として活動することができるので、山香町で使える地域通貨の発行や、サブスクによる施設利用なども計画しています。

◆人のつながりが生み出すモノ・コト

弊社と「やろうえ」の関係ですが、山香会議発足時最初の6人が集まった時からの仲間なので、「やろうえ」を設立する際にロゴ制作の相談をいただき、デザイン、名刺ほか印刷物を作成させていただきました。そのほか、スタンプラリーの運営、祭り出店のサポート、企画書作りのお手伝いなど、関わらせていただいています。

さらに、ここが大事なんですが、今後の印刷に関わる業務全般を当社に任せるという確約もいただいております。「やろうえ」との関係だけでなく、町の人たちからも、当社が少しずつ認知されていって、このように、お仕事のお声掛けをいただくようになってきました。これらの仕事に共通しているのは、競争見積が無いところです。信頼をいただいているということだと私は思っています。

以上がこの地域での取り組みと、人のつながり、そこから発生したモノやコトについてのご説明です。まとめですが、地域の活性化に関わっていく上で私が一番大事だと感じていることは、その地域の方々との関係性をどう作り上げるかです。

「クライアントVS業者」のままであれば、持続的な地域活性化はできないと思っています。課題に対し、一緒に解決していく「仲間」という関係性が大事で、そのためには、まず、その地域に対する愛情・思いがどれだけあるか。



実は私も一度は町を出たUターン者です。だからこそ感じるのかもしれませんが、この町の豊かな自然、歴史や文化はもちろんですが、ご近所さんとの自然な挨拶や会話を通して、都会に住んでいた時より人口が少ないのに、この町のほうが「人と一緒に生きている」と感じます。なので、この町が好きだし、失くしたくないです。

それから、利益よりも目的を達成することを最優先する姿勢が必要で、私だけでなくそう思う人たちがつながって、仲間になっていくんだと。仲間がいると楽しいですね。楽しいところには活気が生まれ、必ずビジネスが発生します。今回で言えば、山香社中がいて、山香会議ができて、そういう人たちを軸にどんどん人のつながりができて、新しいモノ・コトが生まれる形になった。その象徴が「やろうえ」です。

「やろうえ」は生まれたばかりの社団法人で、まだまだ実績がありませんが、これから山香町の活性化になくはならない存在になります。弊社は情報伝達のプロとして、「やろうえ」と連携をとりながら、山香町を広く発信していくことが、これからの使命だと思っています。

最後になりますが、私が地域活性化に向けての活動に携わることができたのは、弊社が持つ以下の3つの強みがあるからだと思っています。

- ①従業員がやりたいと思うことにチャレンジできる環境
——これは経営者の方針で、「あなたたちの会社だから、良いと思うことはチャレンジしてみなさい」と常に社員に言っています。
- ②多能工で支え合う社員同士の信頼関係
——1部署1人の会社なので、社内で勉強会などをしながら、他部署の補助ができる環境を整えています。
- ③少人数でも業務を回せるよう構築したシステム
——工程管理は自社のデータベースシステムを使い、社外に居てもオンラインで操作できるようにしています。

こういった会社なので、私は地方に居ても社員と連携しながらリモートワークで業務を止めることなく、現地で課題解決に向けての取り組みを続けることができました。これらが弊社の強みだと思います。

自分も周りも、きつともっと変われると思うから、やりたいことがたくさんあります。人・モノ・コトをつなぎ、それに触れる人たちが幸せや喜びを感じられるように、これからもチャレンジを続け成長していきます。